

請願・陳情文書表

(令和4年第2回土浦市議会定例会)

受理 番号	受 理 月 日	区 分	要 旨	請願・陳情者	紹介議員	付 託 委 員 会	頁
5	4.5.18	請願	つくばエクスプレス（TX）延伸の土浦への誘致を求める請願	土浦市 [REDACTED] 中央二丁目地区長 [REDACTED]	矢口 勝雄	総務市民 委員会	2～3
6	4.5.30	陳情	（仮称）上大津地区統合小学校整備に関する陳情書	おおつ野地区長 [REDACTED] 沖宿町地区長 [REDACTED] 田村町地区長 [REDACTED] 菅谷町地区長 [REDACTED]		文教厚生 委員会	4～7 及 び 別添 資料

つくばエクスプレス（TX）延伸の土浦への誘致を求める請願書

紹介議員

矢口 勝雄

つくばエクスプレス（TX）延伸の土浦への誘致を求める請願

趣 旨

茨城県がTXのつくば駅からの延伸に向けた調査費1,800万円を本年度予算に計上したと報道されました。延伸ルートの候補として筑波山方面、水戸方面、茨城空港方面そして土浦方面の4つの案が示され、今年度中に一つのルートに絞り込まれます。

土浦市は、かつて県南の商業都市として栄え市街地は活気に溢れていました。しかし、バブル経済の崩壊以降、商業施設が少しずつ撤退し中心市街地が衰退するとともに人口の空洞化が進んでしまいました。

そのような中、TXの土浦延伸が実現できれば、東京へのアクセスルートが常磐線とTXの2つになることで利便性が向上します。また、土浦の知名度が向上し、東京への通勤圏内であると認知されることにより定住人口の増加が大いに期待できます。それにより中心市街地を含め土浦市全体の商業活動が活発になり本市経済の活性化が図られることは明らかなです。

加えてTXが土浦を経由して茨城空港に延伸されれば、空港に直接アクセスできることから更に利便性が向上するとともに、インバウンドにより観光面などの大きな経済効果が見込めますので、茨城空港への延伸についても期待するところです。

TX延伸ルートの決定までには時間がありません。つきましては、「TX土浦延伸を実現する会」が発足し要望活動を展開するとの報道がありましたが、土浦市の未来のために土浦延伸を必ずや実現するよう、市が全力で誘致することを強く求め請願いたします。

請願事項

つくばエクスプレス（TX）の延伸ルートが土浦方面に決定するよう、土浦市が全力で誘致すること。

令和4年5月18日

土浦市
中央二丁目地区長

土浦市議会議員 小坂 博 殿

令和4年5月30日

(仮称) 上大津地区統合小学校整備に関する陳情書

土浦市議会議員 小坂 博 殿

おおつ野地区長
沖宿町地区長
田村町地区長
菅谷町地区長

陳情趣旨

上大津地区においては、別紙第1の経過により上大津地区統合小学校の建設計画が進められております。しかし、計画策定における位置選定経過、現計画における窪地への建設、公民館との複合化、スクールバスの運営等について、「説明」が行われるのみで、質問しても具体的な回答はなく、地域住民も含めた十分な検討がなされないままに、開校時期ありきの部内協議等が進行されているのではないかと危惧しております。

子供たちの登校先が統合小学校に移る我々は、未来の子供達の安全で快適な学びの場としてふさわしい小学校になることを強く願っております。次世代への禍根を残さないためにも以下の事項について、議員各位のご検討協議を賜りたく、陳情申し上げます。

陳情事項（細部内容説明は別紙第2）

- 1、統合小学校建設候補地について再検討し、改めて最適な場所を選定し直すこと。
- 2、公民館は複合化せず、独立施設とすること。
- 3、安全対策としてスクールバスを選定する場合は、利用料金を無料とすること。



令和4年5月30日 以下陳情者一同

役 職	住 所	氏 名
おおつ野地区長（代表者）		
沖宿町地区長		
田村町地区長		
菅谷町地区長		

別添：別紙第1「上大津地区統合小学校整備に係るこれまでの経緯」

別紙第2「陳情項目細部説明」

上大津地区統合小学校整備に係るこれまでの経緯

2017年11月 上大津地区小学校適正配置検討委員会の設置(15名)

委員会は7回 2020(令和2)年6月29日第7回検討委員会

住民説明会 平成29年8月・30年6月・31年1月・令和2年8月

2020年4月 上大津西小が菅谷小に暫定統合

2020年11月 上大津地区小学校適正配置実施計画の策定

上大津東小と菅谷小を統合する。

現在の土浦第五中学校から500メートル以内を目安とする。

令和9年4月までの開校を目指す。

2021年11月30日 第1回開校準備協議会

候補地の選定については報告事項であり、すでに決定事項となっていた。議事録によると、選定経過や理由の説明もないわずか34分の会議であった。

2021年12月15日 地区住民へのチラシ配布：「建設候補地の選定等について」

選定箇所位置図を掲載、選定理由として「用地買収に全員協力的であった。」とのこと。現地の深い窪地の状況から用地買収に反対する地権者がいないことは明白。用地選定には今後幾世代における児童の環境面を考慮すべきで、用地買収が容易なことが最優先の理由であるべきではない。

また、チラシの中に、「保護者、地域住民及び教職員等を主体とする開校準備協議会を設立し、第1回の協議会を令和3年11月30日に開催しました。」と記載されており、関係各位の協議が十分になされたとの印象を受ける。しかし、会議では配置ゾーニング図による整備の在り方等について、幾分の説明があったのみで、たった34分で閉会となっており、会議を行ったという事実作りの印象は拭えない。

2021年12月23日(木)13:30～ 公民館運営委員向けの小学校建設候補地説明会

上大津公民館を統合小学校の体育館の1階に複合化することの説明が初めて行われた。

2022年1月～2月 説明会を受けた意見提出・回答

1/7意見は【高低差と配置・眺望・公民館のあり方・公民館との共用・体育館の利用・斜面地建設の懸念・公民館活動の継続を懸念】これに伴う2/25の回答は「丁寧に進める・配慮する・検討する」という回答のみで具体的な内容になっていない。

2022年3月2日～23日 基本計画(案)へのパブリックコメント

2022年4月26日(火)18:30～20:30 上大津地区統合小学校整備基本計画(案)説明会

参加者：土浦市教育委員会教育部長、教育総務課長、施設係長、生涯学習課長、学務課長、教育指導課長、政策企画課長、行革デジタル推進課長、市民活動課長、市民生活部長

パブリックコメントは9人の意見提出があったものの「丁寧に説明する・設計段階で検討する・配慮する・整理する」という回答のみで具体的な内容になっていない。また、こちらから改めて候補地の選定経緯及び公民館の複合化について質問した。

教育部長からの説明：統合小学校は、小中一貫教育を行うため距離的な近さを追求し500m範囲とした。2021年夏に地主の意向調査を実施したところ、東側と北側には同意が得られない方がいた。西側は地権者全員からの同意があるからとの理由により「11月8日に市長より合意を得た」ことから候補地が西側に決定し、公民館の老朽化から複合化計画としたとの説明があった。

これらの説明は質問内容に対しての十分な回答にはなっていない。また、地元への説明・協議が行われていないことが分かった。

陳情項目細部説明

陳情項目1 統合小学校建設候補地について再検討し、改めて最適な場所を選定し直すこと。

以下に述べる3点が現在の候補地に統合小学校を建設するにあたって危惧している内容です。よって現案で進めることで発生する不具合等を認識し、建設候補地について再検討した上で、改めて最適な場所を選定していただくことを強く陳情いたします。

- ① 現計画によると校舎の2階が国道354号線と目線が同一であり、1階は2階校舎から約4m下、北面のみの眺望で擁壁に囲まれた日当たりの悪い構造になると容易に想像できます。また、サブグラウンドは2階から約7.5m、中学校グラウンドからは約8m下の低層地に設計されており眺望は限られます。なお、この計画地の北側は谷津田であり、夏は湿気、冬は北風にさらされるうえに、マムシの生息地であることから児童の教育環境、生活環境面からも大変不安です。

- ② 統合小学校に通う全児童の75%にあたる約400名が現在の上大津東小学校の児童と見込まれます。現在案の立地場所（土浦五中隣接地）に選定された場合、多くの児童が国道354号線を朝夕一斉に横断することとなり、危険性回避の観点からスクールバスで登下校することが最良案として考えられました。しかし、近距離（小学校から2キロ以内）から毎日多くの児童をバスにより登下校させ続ける程の高い教育効果及び市が継続して費用負担に耐えられるのかが疑問です。また、安全確保のために投資されるスクールバスなどの費用は、将来、市民への説明に窮することになるのではないかと懸念します。

加えて第7回土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会において、委員に方針の決を取った結果、土浦第五中学校付近が5票、上大津東小学校が4票、土浦第五中学校隣接が3票であった【説明資料1】にも関わらず土浦第五中学校隣接として計画が進んでいることに納得できません。この件に関して、この後の協議はなく住民の合意が得られているとは言い難いと思います。

さらに75%の児童が居住する地域の近くに小学校を設置することが利便性、安全性、地域との一体化において自然と考えます。

- ③ 場所の選定結果として【説明資料2】が配布されましたが、これによると土浦第五中学校隣接となった選定理由として、この地域の地権者が全員協力的であったこと（後の説明では他の場所の地権者の理解が得られないこと）及び中学校に近ければ近い程、効果的な小中一貫教育が可能となることが記載されています。

一方、説明会では、統合されない神立小学校は他の小学校と遜色のない小中一貫教育が可能と説明されていることを踏まえると土浦第五中学校から500m以内を選定する必要はないことになります。加えて、上大津東小学校周辺やその他の団地隣接場所においても地権者の理解が得られ、地盤が強く平坦な場所が存在していると聞き及んでおります。様々な費用も抑えられると考えられますので、改めて最適な場所を選定していただきますようご検討をお願い申し上げます。

陳情項目2 公民館は複合化せず、独立施設とすること。

市内各地区公民館と比較すると次表に示すよう人口に比較して極めて不十分な内容であることは明らかです。複合化を行うことで公民館の施設（図書室、調理室）が共用となることで以下の不具合を懸念しています。

- ・市民が施設を利用する際、校内における児童との接触は不可避であり、そのような環境では不審者と公民館利用者との判別が、教員及び児童ともに困難で、安全対策上課題があります。
- ・児童優先となり使いたいときに使えないことにより利用者が低下することを危惧します。
- ・大きな音が発生する公民館活動（ダンス、民謡、演奏など）及び不必要な大人との接触による児童の集中力低下など教育に影響が生じるのではないかと懸念しています。

現在の複合化計画作成においては上記の事項を始めとするほぼすべての事項が「事後の検討」となっており、建設が始まれば後戻りはできないと理解しています。さらに、計画作成段階において利用者へのアンケート調査や運営委員への相談はありませんでした。社協や関係各課との協議が事前にされていれば、このような問題点は解消されたと思います。以上の理由から、今回の統合小学校整備において公民館は複合化せず、独立施設とすることを陳情致します。

項目	一中	二中	三中	四中	六中	都和	新治	上大津	統合案
中学区別人口(人)	19,663	16,893	25,972	23,938	15,242	12,877	7,864	18,546	
延床面積 (㎡)	1,080	1,223	1,213	1,217	1,220	1,242	1,888	725	340
集会室(収容人数)	100	150	150	120	150	120	120	60	-
和室数	3	3	3	2	3	3	2	2	1
洋室数	2	2	4	5	4	2	4	2	2
調理室	○	○	○	○	○	○	○	○	共用
視聴覚室	○	○	○	○	○	○	○×2	-	-
映写室	○	○	○	○	○	-	-	-	-
ステージ	○	-	○	-	○	-	-	-	-
図書室	○	○	○	○	○	○	○	○	共用
保育室	○	○	-	○	○	○	-	-	-
機械室	-	-	○	○	○	○	-	-	-
エレベータ	○	-	-	-	-	-	○	-	-
身障者トイレ	○	○	○	-	○	○	○	-	-
他公民館との比較により、上大津公民館に具備すべき施設例	・1200㎡以上の延床面積と施設 ・十分な展示スペース ・集会室の収容人員100名以上 ・部屋数を合計3部屋以上 ・視聴覚室、映写室、ステージ、保育室及び身障者トイレ								

陳情項目3 安全対策としてスクールバスを選定する場合は、利用料金を無料とすること。

統合小学校場所選定の条件として児童の安全な登下校を強く意見してきたところ、安全確保にかかる費用についても検討段階で住民から懸念がありました。それを踏まえ教育委員会で検討したうえで場所が選定されたと認識しています。よって安全対策としてのスクールバスの利用料金は無料とすることを陳情いたします。